

事務事業名		ふるさと納税事務		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登録事業				
政策体系	政策名	018 自立した行政経営の確立		事業期間		予算科目				
	施策名	316 健全な財政運営の推進				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	011 自主財源の確保と公有財産等の適正管理				01	02	01	06	00
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ						
所属	部課名	企画政策部企画調整課		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 H20 年度～)						
	係名	政策調整係	電話	27-3111	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】					
			内線	229	年度～年度					
				※全体計画欄の総投入量を記入						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
<p>・平成20年度地方税制の改正で、「ふるさと」に対し貢献又は応援したいという納税者の思いを実現する観点から、地方公共団体に対する寄附金税制の見直しが行われた。内容は、地方公共団体に対する寄附金のうち適用限度額(2千円)を超える部分について、一定の限度額まで所得税と合わせて全額が控除されるというもの(平成23年度税制改正により適用限度額が5千円から2千円になった)。</p> <p>・市では「ふるさと大船渡応援寄附」要項を制定し、寄附の募集、受付を開始した。</p> <p>・PRは、ホームページ、チラシ(ふるさと人会会員等へ送付)で行っている。</p> <p>・当該事務の流れは、①寄附の申出、②寄附申出書の送付、③寄附申出書の受領、④振込用紙の送付、⑤寄附金の受領、⑥寄附金受領証明書及び礼状の送付。</p>						総投入量(千円)	事業費	国庫支出金		
							財源内訳	都道府県支出金		
								地方債		
								その他		
								一般財源		
								事業費計(A)	0	
人件費	正規職員従事人数									
	延べ業務時間									
	人件費計(B)	0								
	トータルコスト(A)+(B)	0								

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		
① 手段(主な活動)		名称		
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位		
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、チラシを通じて、「ふるさと大船渡応援寄附」をPRした。 ・さんりく・大船渡人会総会での資料配布、ふるさとだよりの発行により制度をPRした。 ・186件の寄附金受付事務を行った。 		ア	チラシの発行枚数	枚
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ		
<ul style="list-style-type: none"> ・当該制度PR(市の広報、ホームページ) ・寄附金の受付 		ウ		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)		
<ul style="list-style-type: none"> ・大船渡市出身者 ・大船渡市を応援したいと思っている市外在住者 		名称		
		単位		
		カ	さんりく大船渡人会会員数	人
		キ	「ふるさと大船渡応援寄附」ホームページへのアクセス件数	件
		ク		
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		
<ul style="list-style-type: none"> ・当市に寄附金を納付する 		名称		
		単位		
		サ	「ふるさと大船渡応援寄附」申込件数	件
		シ	「ふるさと大船渡応援寄附」申込金額	円
		ス		
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)				
<ul style="list-style-type: none"> ・自主財源が確保される 				

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円					
		事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	300	300	300	300	300
		人件費計(B)	千円	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
		トータルコスト(A)+(B)	千円	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
⑤ 活動指標	ア	枚	100	60	60	60	60	
	イ							
	ウ							
⑥ 対象指標	カ	人	1,198	1,190	1,200	1,200	1,200	
	キ	件	-	-	-	-	-	
	ク							
⑦ 成果指標	サ	件	297	186	100	100	100	
	シ	円	42,469,002	19,580,945	12,000,000	12,000,000	12,000,000	
	ス							

事務事業ID	1397	事務事業名	ふるさと納税事務
--------	------	-------	----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成20年度地方税制の改正で、「ふるさと」に対し貢献または応援したいという納税者の思いを実現する観点から、地方公共団体に対する寄附金税制の見直しが行われ、全国において「ふるさと納税」の寄附募集が行われることになった。これを受け、当市では、平成20年6月に、「ふるさと大船渡応援寄附」要項を定め、寄附の募集を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	例年、市の広報やホームページ、さんりく・大船渡人会総会を通じて「ふるさと納税」のPRに努めていたが、寄附の申出は低調であった。東日本大震災が発生し多額の寄附金があった平成23年度に比べると、件数・寄付金額共に減少したが、依然多くの寄附が寄せられている。 また、平成23年度税制改正により、寄附金税額控除の適用下限額が5千円から2千円に引き下げられた。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	市議会定例会の一般質問の中で、寄附金がどんな事業に使われているのかわからないため、広報に掲載してはどうかとの指摘があった。 また、寄附をいただいた方からは、寄附申出を市ホームページ上でも行えるようにしてほしいとの意見が寄せられている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 当市出身者などの市外在住者による寄附金納付は、当市の自主財源の確保、ひいては、健全な財政運営に資することから、政策体系に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 地方公共団体が「ふるさと納税」にかかる寄附の募集・受付をすることは、平成20年4月30日に公布された「地方税法等の一部を改正する法律」で規定されており、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 「ふるさと」に貢献したい、「ふるさと」を応援したいという納税者が寄附金を納付した場合に、寄附金控除が受けられるものであり、対象・意図ともに妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 現在、寄附者へのお礼として、市からの礼状と向こう2年間にわたる市広報を送付しているのみである。今後、より積極的な広報に努めるとともに、より気軽に寄附を申し出いただけるよう、申出の簡素化やお礼の仕方を改めることにより、成果の向上が期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 廃止・休止をすると、「ふるさと」に貢献したい、「ふるさと」を応援したいという納税者の思いを税制面で支援することができなくなり、税収入の減少につながる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 「ふるさと」に貢献したい、「ふるさと」を応援したいという納税者の思いを税制面で支援する手段が他にない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 庁内の印刷機使用による納付書やチラシ等の印刷、郵便代程度にとどまり、削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 寄附の募集及び受付に要する時間はごく限られたものであり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 受益者を伴わない事業である。

事務事業ID	1397	事務事業名	ふるさと納税事務
--------	------	-------	----------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	東日本大震災が発生し、多額の寄附金が寄せられた平成23年度と比べ申出件数、寄附金額共に減少した。しかし平成24年度も多くの寄附が寄せられた。																					
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
(上記方向性に対する具体的な内容) 県内他市では、観光・宿泊施設の優待券や特産品などを送付しているところもあり、「ふるさと納税」者にとって、税制上だけでなく、例えば、観光・物産などの面でメリットがある方策について検討するとともに、制度の仕組みや寄附金の使途などについて、よりわかりやすい広報に努める必要がある。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	企画政策部企画調整課長
-------	-------------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																							
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)																							
<input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている																							
②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)																							
<input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																					
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	より積極的に広報に努める必要がある。																					
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)		左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
(上記方向性に対する具体的な内容) 市のホームページや広報紙で、制度の仕組みやメリット、寄附金の使途などについて、わかりやすい広報を心がける。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
